

松崎 淑子



<http://matsuzakiyoshiko.seikatsusha.me/>

連絡先：狛江市議会

〒201-0003 狛江市和泉本町 1-1-5

電話 03-3430-1171

狛江・生活者ネットワーク事務所

電話 03-3430-1302、Fax 03-5761-0678

e-mail komanet.seikatusya@nifty.com

議会レポート 2022.4.30 発行

狛江市議会第1回定例会（2/24～3/30）と2022年度予算審議の報告、市政情報をお届けします

市民の困りごとから

どうする！漏水放置

都営狛江アパート商店会の62年間取り換えられていない店舗外水道管からの漏水。漏水は10か月放置されたまま。

錆びついて老朽化した配水管の腐食した穴の大きさから推計すると、小学校の25mプール約200杯分の漏水量。

責任の所在や所管の問題もあるとは思いますが、まず漏水の解決策を！

狛江市からも都に対し、応急的に漏水を止め、話し合う場の設定を要望して下さい！

2022年度予算原案 賛成多数で可決 子育て支援とゼロカーボンへの前進に期待！

3/17から3日間「2022年度予算特別委員会」が開かれました。一般会計予算は新型コロナウイルス対策費も含めて総額313億2千万円。

◆10月から小3～小6を含むすべての小学生の医療費助成所得制限を撤廃、就学援助の拡充、多胎妊娠健康診査助成費の創設など子育て支援の充実。

◆2050ゼロカーボンシティの実現に向け、昨年度の市庁舎・防災センターに続き、**小中学校を100%再生可能エネルギー電力に切り替えること**を評価します。**市民に対しても再エネ電力への切り替えキャンペーン**が実施されますが、効果的なアピールの工夫と、新電力を含め再エネ比率や電源構成の公開を求めました。

◆(仮)駒井町公園の用地取得開始、**公民館・地域センターにWi-Fi(一部)導入**などが計上されています。

◆図書館や市民センターなど大規模で市民生活と密接な関係のある**公共施設事業**については、**方針など意思形成過程から市民参加で議論を進めることを基本とすること**、予定されている市民参加条例見直し審議に際しては市民参加のあり方や手法について、市民から意見や要望が上がった場合、双方の主張が平行線にならないように、公平かつ効率的に判断する**第三者機関の設置を条例に加えることを要望**しました。

◆小6～高1 女児対象の**HPV(子宮頸がん)ワクチン**勧奨再開に向け、**全てのHPVウイルスに有効ではないこと**から、**予防には子宮頸がん健診の受診を周知するよう要望**しました。(QRコードでリーフレット確認できます)



◆そのほか、各小学校での**放課後クラブの支援員と子どもが過ごす環境整備**、今年度終了予定の**特別支援教育研究事業(三小知的障がい児サポート研究)**の評価を今後活かすことなどを要望。

◆一般会計と国民健康保険特別会計で、国保税の値上げを見送るなどの組み替え動議が出されましたが、生活者ネットワークは国の未就学児童への均等割保険税の軽減対策に加え、市独自に多子世帯に対して18歳未満の第3子以降の均等割を全額免除とする対策を評価し、今後も必要に応じて減免措置を講じることなどを要望し、一般会計予算、特別会計予算、下水道事業会計予算とも原案に賛成しました。

郵便はがき

料金受取人払郵便

狛江局承認

758

201-8790

狛江市東和泉 1-1-25
松崎ビル 101

差出有効期限
令和5年9月
30日まで

狛江・生活者ネットワーク
まつざき 淑子 行



住所 _____ 電話 _____

氏名 _____

年代 ~19-20 30 40 50 60 70 80代以上

生き生きレポート(無料)の定期郵送を

希望します



議会報告

👤 エッセンシャルワーカーの待遇改善になるか

国の介護職、保育士等処遇改善対策として、9月までは国費で3%程度上乗せする園の申請による(ことが決定。狛江市では民営保育園の施設長以外保育士・栄養士・事務職員、非常勤職員への上乘せ分補正予算が計上されました。介護関連事業所は都が申請窓口です。

👤 世代や所管を越えた支援体制の構築

少子高齢化、単身世帯増加による地域や世帯の課題の複雑化・複合化に対応するため、既存の相談・支援体制を生かしつつ、「**重層的支援体制整備事業**」が実施されます。今年度は市の南部(駒井町)に多世代の居場所兼シルバークラブとステーション設置準備が始まり、北部正吉苑エリアにもコミュニティ・ソーシャルワーカーが配置され、地域の課題解決を進めます。

😊 子ども・子育て会議は「子ども・子育て・若者会議」に

子ども若者を取り巻く社会状況の変化と、問題や情報を共有化して継続的にサポートするために、「青少年問題協議会」を廃止し、子ども・子育て会議に「若者」を統合します

市議会議員 まつぎき淑子の一般質問

1. 安心安全な給食を！～ゲノム編集食品を給食に使わないことを要望

狛江市立小中学校では2001年より「学校給食物資規格表」に基づき、毎学期登録業者による食品選定が行なわれています(米、パン・麺、牛乳、青果以外)。規格表には当初より「遺伝子組み換え食品を使わない」と明記され、2016年の改定では全ての食品について「原則、国内産」「期限表示期間を十分に残したものが追記され、不要な食品添加物も使わない方向が示されています。納入業者は規格表を遵守していることを確認しました。

🍅 2020年12月、国内初のゲノム編集食品である高GABAトマトの届け出が国に提出されました。国はゲノム編集食品を遺伝子「組み換え」ではなく「改変」とし、影響評価や表示義務など規制がないまま、栽培と販売を解禁していますが、人体や環境への影響は不透明です。給食に「ゲノム編集食品を使用しない」と規格表に明記することを求め、慎重に対応を考えるとの答弁を得ました。

地場野菜導入については、小平市の野菜提供農家への補助金制度を紹介し、農地を守る観点からも給食への導入拡大を求めました。

また給食の飲み残り牛乳は1日平均小学校で50本(1.3%)、中学校で230本(16.1%)が廃棄されていることがわかり、子どもたちともに対応をすることを要望しました。

2. どうなる？ 狛江市個人情報保護条例～デジタル改革関連法への対応

国はデジタル改革推進のため、デジタル庁設置とともに、自治体独自で制定していた個人情報保護条例を法に一元化すると決めました。狛江市の条例では個人情報の開示、訂正、利用停止などを求める権利を保障しており、市は職務執行上の必要性から個人情報を目的外に利用する場合には、市民・有識者6人で構成される審議会の意見を聴かなければなりません。審議の内容は毎年広報こまえに公開され、透明性の確保、「民主的な統制」の役割も担っています。個人情報保護制度の肝心な部分が骨抜きにならないよう、来年春の一元化に向け、本年末までに他市とも情報交換を行いながら、新たな個人情報保護制度の検討が慎重に審議されることを確認、要望しました。

3. 居住支援は相談、マッチングと共に生活支援など福祉の視点を

狛江市居住支援協議会設置から3年。市は毎月第2火曜日に高齢者・障がい者・子育て世帯など住宅確保要配慮者を対象に民間賃貸住宅のマッチングを目的とした「住まい探しの相談窓口事業」を行っています。受付は福祉政策課で、相談は不動産知識を有する職員が行い、2021年度は22件の相談、7件の成約、緊急相談も15件でした。成約以外でも、更新して住み続けることができた案件などもあったとのこと。

♥️ 借りる側、貸す側の不安を取り除くためにも、民間の居住支援法人が行っている、相談・見学・契約時の同行、引越し支援、緊急連絡先の提供など、また入居後の生活支援コーディネート、トラブル相談などのフォローも必要であることを訴えました。市からは窓口相談事業の相談員に福祉関係者を加えた体制の検討を進めている、との答弁がありました。



自然エネルギーにシフト!
狛江市駅前
スタンディング

大事なケアラー
自身の人生



△ケアラー連盟の堀越栄子さんとプロジェクトメンバー

狛江・生活者ネットワークは、皆様からのご意見をもとに調査し、狛江市への予算要望や提案に活かしています。

子育て・教育・介護・保健医療・環境・防災など、なんでも気になっていることをお寄せください。切手を貼らずに投函して下さい。

